

〔科目名〕 経済演習Ⅱ				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 演習科目	
〔担当者〕 七宮 圭						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 統計ソフトを用いた統計分析手法の習得及び経済データの実証分析							
〔演習内容〕 経済データを分析するための統計学の初級及び中級レベルの内容の習得とソフトウェアを利用したデータ解析方法の習得、またそれらの手法を利用した研究を行います。 ①統計学の教科書の輪読 ②統計データを処理・分析するための Excel、R、gretl などの統計ソフトウェアの使い方やプログラミングの基礎とその練習 ③グループワークによる研究とその発表 ※なお、内容に関しては、参加者に応じて適宜変更します。予めご了承ください。 2024 年度の経済演習Ⅱでは、 ・福地純一郎・伊藤有希(2011)『Rによる計量経済分析』朝倉書店 ・星野匡郎・田中久稔・北川梨津(2023)『Rによる実証分析[第2版]』オーム社 などをもとに統計ソフトウェア R による分析手法を学んでから、個人あるいはグループでテーマを設定し、そのテーマに関連した先行研究の論文等の報告を行っています。							
〔科目の到達目標〕 以下の3つの点を到達目標とします。 ・統計分析の知識を習得すること。 ・ソフトウェアを利用したデータ解析ができるようになること。 ・他者が作成した論文等を読解できるようになること。							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2 ○	DP3	DP4 ○	DP1 ○	DP2 ○	DP3 ○	
〔前提条件〕 特になし。 ただし、パソコンと数学は使用します(得意である必要はありません)。 また、経済データの統計分析を行う際には経済学の知識が必要となります。							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 出席状況を含む授業態度、課題などへの取り組み方などにより、成績を評価します。							
〔教科書等〕 特になし。 参加者の興味を参考にしたうえで、適宜紹介します。							

〔実務経歴〕 なし	
授 業 スケ ジ ュ ー ル	
時 期	テ ー マ と 内 容
春学期 および 秋学期 前半	● 統計学の教科書の輪読 ● 統計データを処理・分析するための Excel、R、gretl などの統計ソフトウェアの使い方やプログラミングの基礎とその練習
秋学期 後半	● グループワークによる研究とその発表